

# 青森市立西田沢小学校屋内運動場改築事業

## 景観審議会資料

### — 目次 —

1. 事業概要	5. 配置図（航空写真）
2. 設計条件及びコンセプト	6. 平面図
3. 敷地周囲写真	7. 立面図
4. 配置図	

# 青森市立西田沢小学校屋内運動場改築事業

## (1) 事業概要

### <計画施設について>

既存の青森市立西田沢小学校は、校舎及び屋内運動場ともに昭和34～40年度に建設されたものが多く、平成23年度に実施した耐震診断において、屋内運動場は耐震性が低く、かつ耐震補強が困難と判断されたため建替を行うものである。校舎は、耐震性の不足を指摘されたが、耐震補強が可能との判断により、補強工事を行うこととした。

### <整備方針>

通学する児童及び教職員、施設を利用する市民が、安全で安心な環境とするために改築工事を実施する。また、関連する校舎の耐震補強工事等の工事と連携し、整備するものである。

### <計画建物の概要（構造・規模）>

西田沢小学校の屋内運動場は、公立学校建物の校舎等の基準により計画し、下表の規模を想定している。

	既存		⇒	計画	
	構造・階数	規模 (㎡)		構造・階数	規模 (㎡)
屋内運動場	木造平屋建	387		鉄筋コンクリート造2階建	922

### <整備スケジュール>

今年度は校舎の耐震補強工事等を実施するとともに屋内運動場の実施設計を行い、平成27年度に屋内運動場の改築工事を着工する。

## (2) 計画段階でいただいた意見について

### 《ご意見①》

屋内運動場が既存より大きくなり、目立つ建物になると思われるので、色彩に配慮していただきたい。

### 《回答①》

面積的に既存の屋内運動場の2.5倍程度大きくなることから、色彩は青森市景観計画に基づいた推奨色で構成し、周辺に住宅地も多いことから、過度な色彩を控えることで建物として主張しないようにまとめる計画です。

### 《ご意見②》

建物を国道側に寄せないなど、圧迫感がないような配置を検討していただきたい。

### 《回答②》

敷地の大きさや形状、既存校舎の配置、グラウンドの有効活用などの条件を考慮し、敷地の南側の国道側に配置することとしましたが、近隣住民や通行者が圧迫感を感じないように、外壁の仕上げ（材料や模様など）及び色彩に配慮したいと考えています。

## (3) 位置図



計画地

## (4) 敷地概要

### <地番>

青森市大字飛鳥字塩越80番地

### <敷地面積>

6,816㎡

### <用途・防火地域等>

都市計画区域内

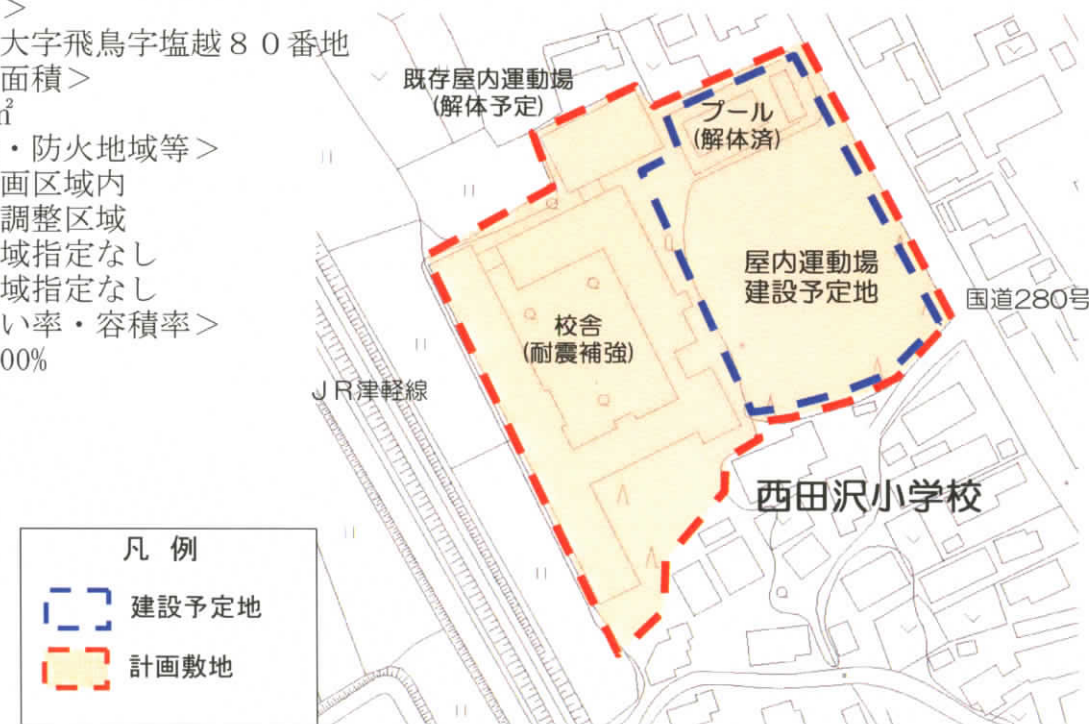
市街化調整区域

用途地域指定なし

防火地域指定なし

### <建ぺい率・容積率>

70%・200%



## (2) 設計条件及びコンセプト

### ■ 設計条件

#### [ 屋内運動場棟 ]

・ 構造	鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造(屋根) ※耐火・簡易耐火建築物は要求されない建築物		
・ 規模	延べ面積：922㎡程度、ただし、多少の面積増も可能 ※渡り廊下面積は、上記面積に含まない。		
・ 所要室	諸室		
	アリーナ		1室
	ステージ		1室
	器具置場2・3		2室
	放送室		1室
	用具庫		1室
	更衣室(男女各1)		2室
	便所(男女各1)		2室
	多目的便所		1室
	防災倉庫		1室
	玄関		1室
	器具置場1(2階)		1室

#### [ 渡り廊下棟 ]

・ 構造	鉄骨造平屋建(主要構造部を不燃材料)
・ 規模	校舎棟との接続に必要な最小限の延べ面積とする。

#### [ グラウンド・外構関係 ]

・ トラック	100mトラック(5コース) 直線コース50m(前後5m付、5コース)
・ 野球場	既設バックネットを解体し、北側グラウンド内に新設する。
・ 駐車場	15台程度のスペースを確保する。
・ 遊具	既設遊具が計画地内にある場合は、既設各種遊具(鉄棒、すべり台、雲梯、ジャングルジム)を解体し、他のグラウンド内に、同種の遊具を新設する。

### ■ その他の条件

・ 身体障害、高齢者への対応	①玄関スロープ、階段及び全ての大便所への手摺設置 ②車椅子対応の多目的トイレを1箇所設置する。
・ 既存植栽について	本計画により撤去・移設・剪定の必要性が生じた場合、本設計に含む。
・ 景観について	青森市景観形成ガイドラインに基づき必要な検討・取組みを行う。

### ■ 設計コンセプト

#### [ 配置計画 ]

- ・ 屋内運動場を出来るだけ南側に配置した。
  - グラウンドの有効利用ができる位置
  - グラウンドとの一体利用や各種行事、災害時の避難所としても使いやすい位置
  - 近隣住宅に対する日影の影響が出来るだけ小さい位置
- ・ 駐車場を既存屋内運動場跡地に配置することで、車両動線と生徒登下校動線との分離を図った。  
(安全確保・既存屋内運動場跡地の有効利用)
- ・ 校舎北側にある配膳室への配膳車等の運搬動線と生徒登下校動線との分離を図った。
- ・ 既存グラウンドの中央～北側部分にグラウンドスペースを確保し、下記の施設を配置した。
  - ・ トラック : 100mトラック(5コース)
  - ・ 直線トラック : 直線50m(前後5m付、5コース)
  - ・ 野球場 : 両翼40m可能
- ・ 遊具スペースを、屋内運動場の東側に設けた。
- ・ 既存屋内運動場の解体後の跡地を有効に利用できる。(遊具場又は駐車場にも利用可能)

#### [ 平面計画 ]

- ・ 現在使用している昇降口と接続し、下足入れ等既存の施設利用を図り、改修工事を少なくした。
- ・ 昇降口から普通教室への動線が短いので、生徒への負担が少ない。
- ・ グラウンド側から使用可能な男女便所を設けた。
- ・ 多目的便所を玄関近くに設置した。
- ・ 内外から出し入れできる防災倉庫を設置した。

#### [ 立面計画 ]

- ・ 歴史ある木造平屋建ての校舎に調和する建築物として、立面は過度なデザインを避け、シンプルで飽きのこないデザインとする。

#### [ 色彩計画 ]

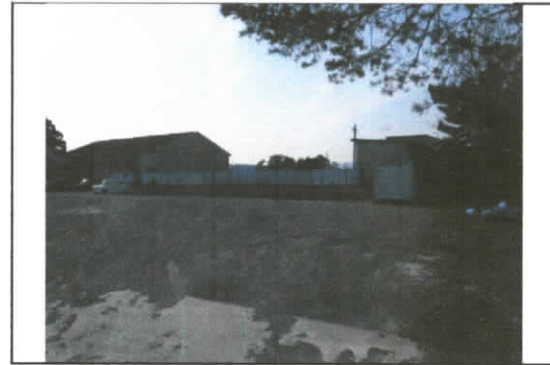
- ・ 色彩は青森市景観計画に基づいた推奨色で構成する予定である。
- ・ 周辺に住宅地も多いことから、過度な色彩を控えることで建物として主張しないようにし、圧迫感のないような計画とする。

※色彩計画の詳細は、計画案作成後に再度審議会に諮る予定である。

①から撮影した写真



②から撮影した写真



③から撮影した写真



④から撮影した写真



⑤から撮影した写真



⑥から撮影した写真



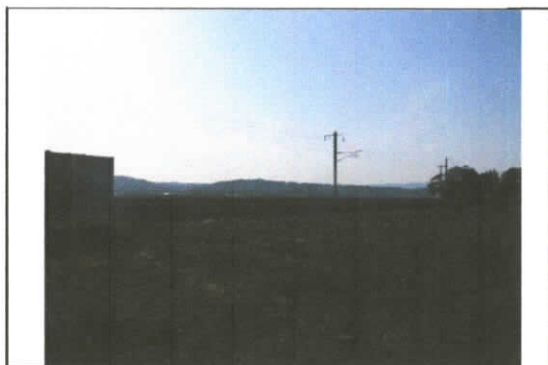
⑦から撮影した写真



⑧から撮影した写真



⑨から撮影した写真



⑩から撮影した写真



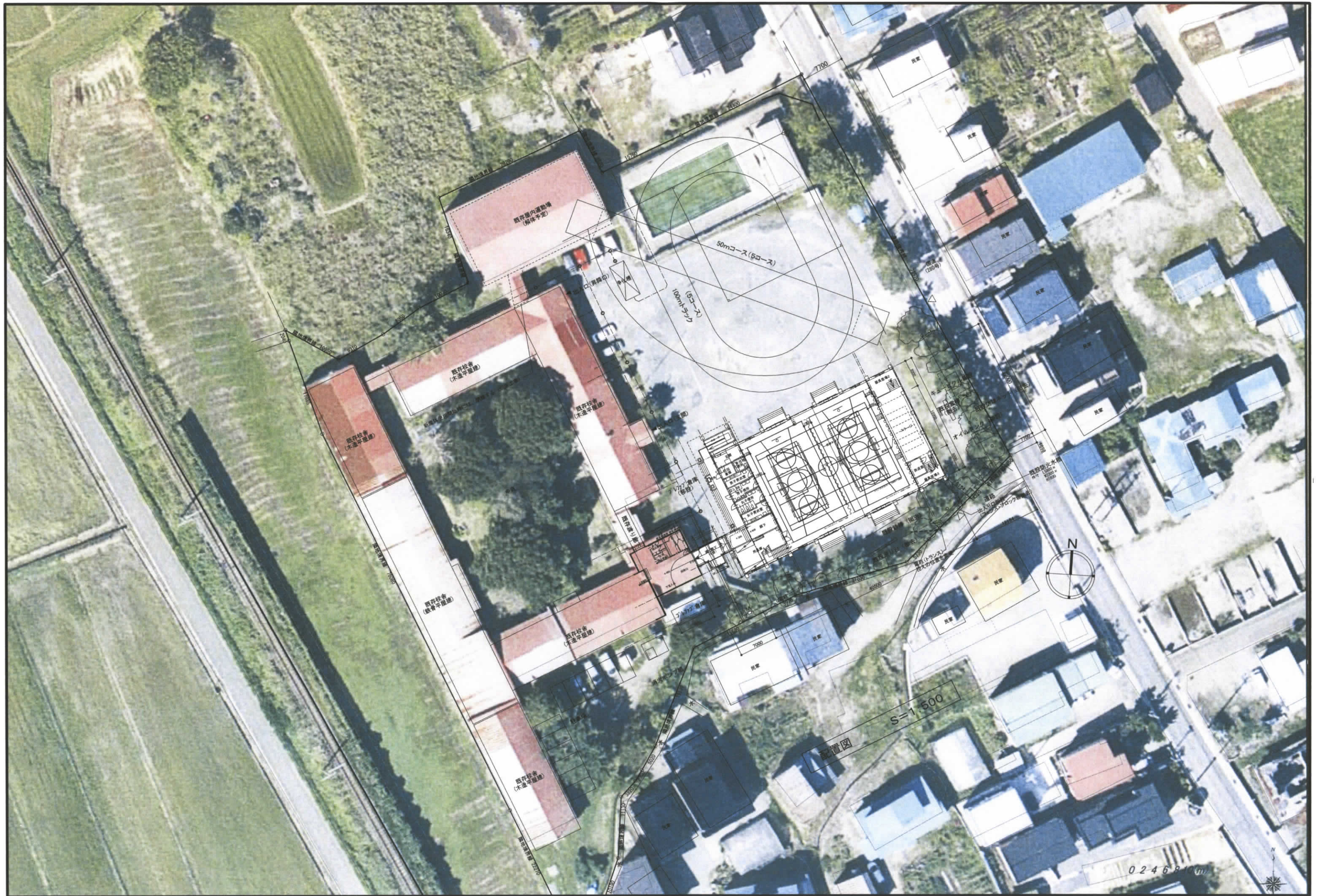
⑪から撮影した写真

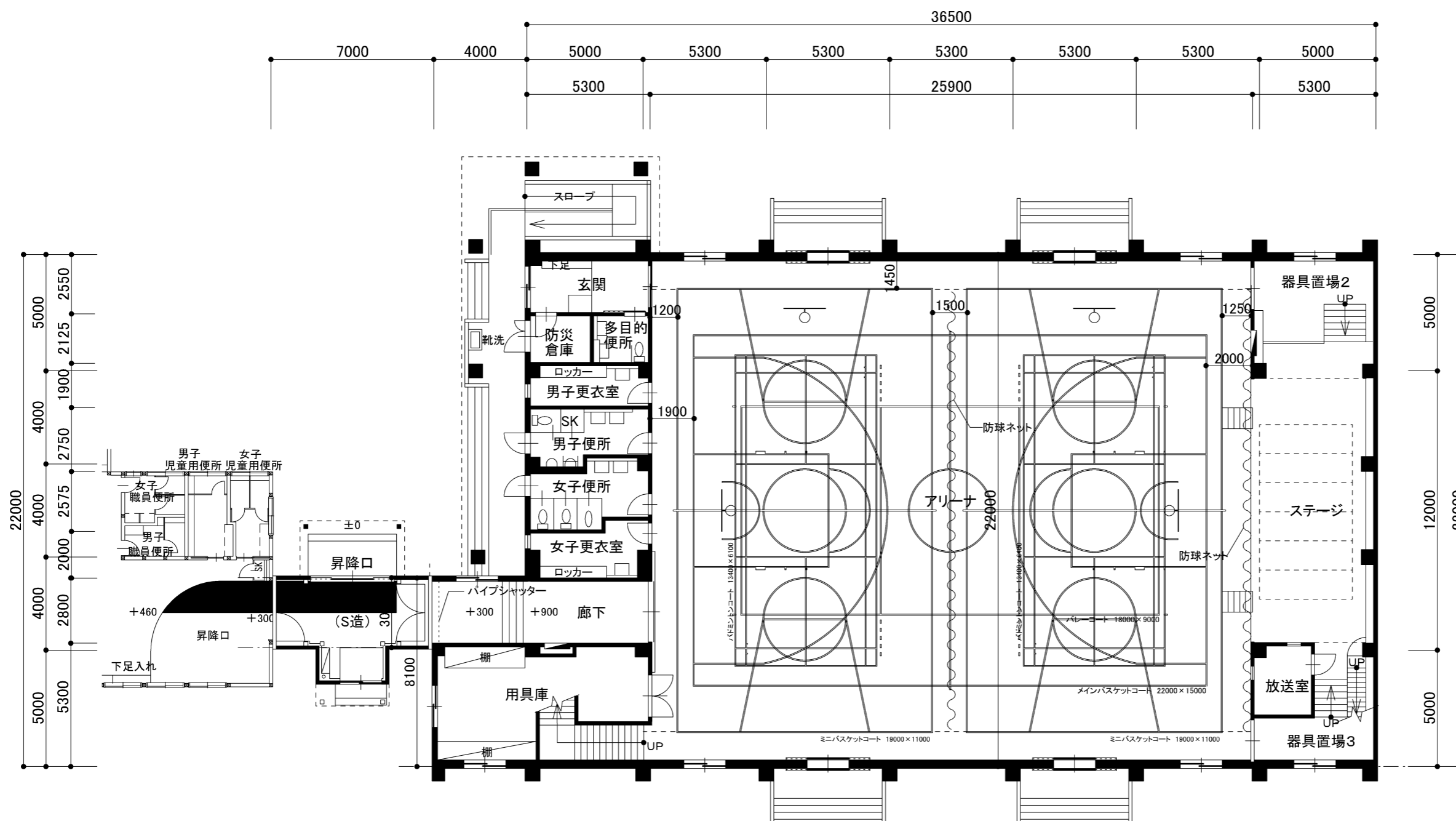


⑫から撮影した写真









床面積(点検通路の面積は含まず)

2階 122.960 m<sup>2</sup>  
 1階 835.400 m<sup>2</sup>  
 合計 958.360 m<sup>2</sup>

渡廊下床面積 25.500 m<sup>2</sup>

増築床面積 983.860 m<sup>2</sup>

床面積(点検通路の面積を含む)

2階 227.500 m<sup>2</sup>  
 1階 835.400 m<sup>2</sup>  
 合計 1065.900 m<sup>2</sup>

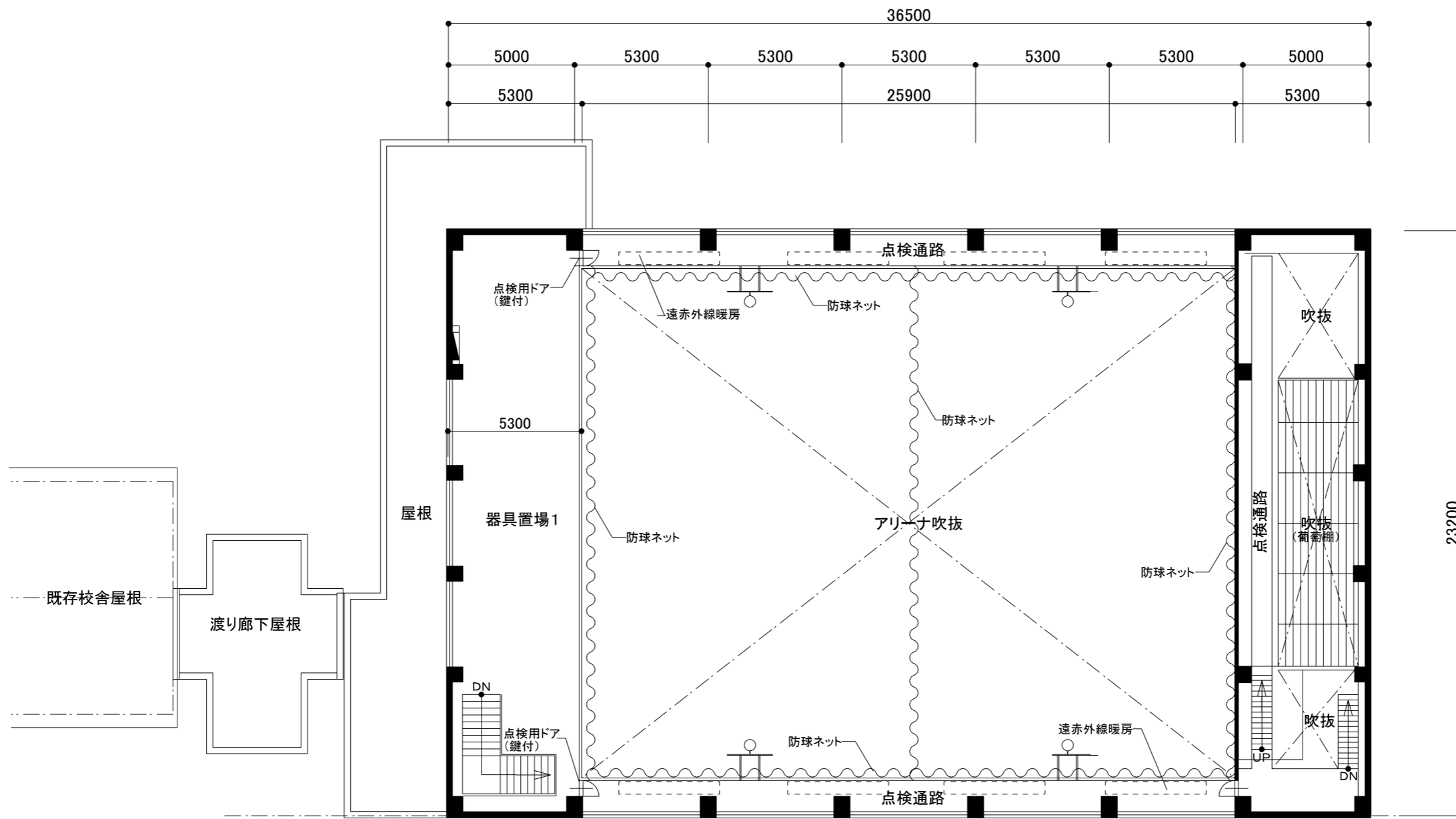
渡廊下床面積 25.500 m<sup>2</sup>

増築床面積 1088.400 m<sup>2</sup>

体育施設一覧表

NO	名称	数量	NO	名称	数量
1	吊下前方折りたたみ式バスケット台	1対	12	側面防球ネット	2張
2	水平引込折りたたみ式バスケット台	2対	13	妻面防球ネット	1張
3	バレー床止金具	1対	14	吊 縄	1基
4	バドミントン床止金具	2対	15	肋 木	1台
5	低鉄棒用床止金具	8個	16	サージャントジャンプ台	2台
6	メインバスケットコートライン引	1面	17	ステージ用タラップ	2台
7	サブミニバスケットコートライン引	2面	18	椅子収納台車	4台
8	6人制バレーコートライン引	1面	19	万能台車	2台
9	バドミントンコートライン引	2面	20	吊バトン	2台
10	ステージ防球ネット	1張	21	支柱整頓棚	2台
11	セパレート防球ネット	1張			

1階平面図 S=1:200



2階平面図 S=1:200





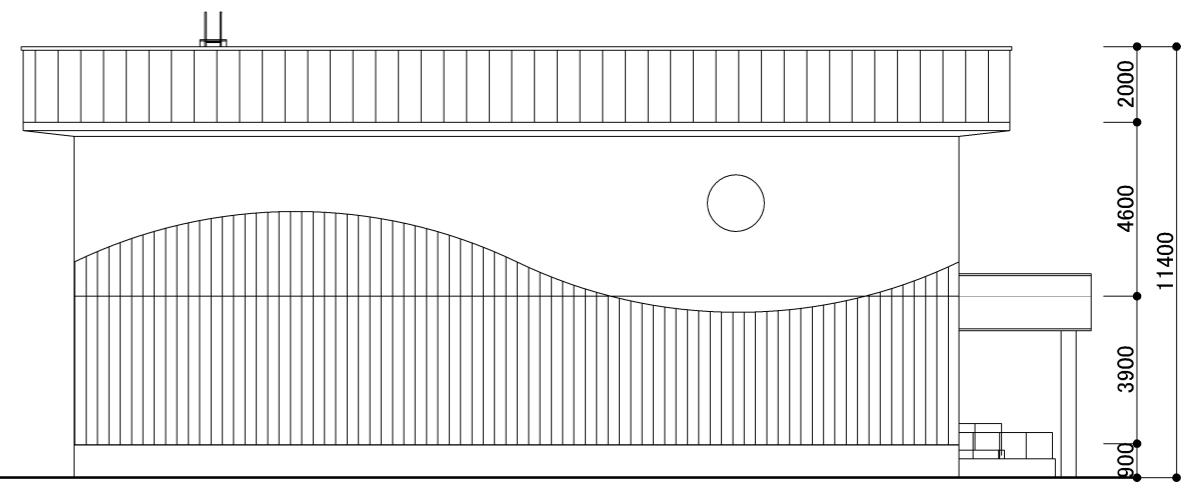
西側立面図 S=1:200



北側立面図 S=1:200



南側立面図 S=1:200



東側立面図 S=1:200